

# 新地方公会計制度による 平成24年度財務諸表を作成しました

本市では、民間企業のお考え方を取り入れた会計基準で皆様に財政状況をお知らせするため、総務省より示された「総務省方式改訂モデル」を用いて財務諸表4表を作成しています。

なお、本紙においては財務4表のうち「貸借対照表(バランスシート)」のみ掲載し、それ以外の4表等は市のホームページに掲載しましたので、そちらをご覧ください。

## 貸借対照表(バランスシート)とは

地方公共団体の決算はその年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産【市民の財産】の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

## 普通会計バランスシート

(平成25年3月31日)

借方(資金の使われ方)		貸方(資金調達のされ方)	
<b>1 公共資産</b>		<b>1 固定負債</b>	
① 有形固定資産	884億 6,277万円	1年以上先に支払うもの	
庁舎、道路、公園、学校、保育園、 公民館、体育館などの土地、建物		① 地方債	170億 6,703万円
② 売却可能資産	676万円	② 長期未払金	5億 82万円
	<b>884億6,953万円</b>	③ 退職手当引当金	35億 2,586万円
			<b>210億9,371万円</b>
<b>2 投資等</b>		<b>2 流動負債</b>	
① 投資及び出資金	1億 8,142万円	1年以内に支払うもの	
② 貸付金		① 翌年度償還予定地方債	22億 3,310万円
③ 基金等	74億 3,321万円	② 未払金	8,131万円
④ その他	4億 1,097万円	③ 賞与引当金	5億 3,110万円
長期延滞債権など			<b>28億4,551万円</b>
	<b>80億2,560万円</b>		
<b>3 流動資産</b>		<b>●負債合計</b>	
① 資金			<b>239億3,922万円(239億7,808万円)</b>
現金や必要に応じてすぐ使える基金(預金)		<b>1 純資産</b>	
・財政調整基金	23億 2,589万円	すでに負担して、支払いが済んでいる資産	
・減債基金	29億 813万円	① 国県補助金など	141億 5,279万円
・歳計現金	13億 621万円	② 一般財源など	650億 5,129万円
② 未収金	1億 794万円		
	<b>66億4,817万円</b>	<b>●純資産合計</b>	
<b>●資産合計</b>			<b>792億 408万円(787億 120万円)</b>
	<b>1,031億4,330万円(1,026億7,928万円)</b>	<b>●負債・純資産合計</b>	
			<b>1,031億4,330万円(1,026億7,928万円)</b>

・資産合計 1,031億4,330万円【市民1人当たり 172万円(172万円)】

・負債合計 239億3,922万円【市民1人当たり 40万円(40万円)】

・純資産合計 792億 408万円【市民1人当たり 132万円(132万円)】( )内は前年度の金額

※平成25年3月31日現在、住民基本台帳人口 60,034人

普通会計とは一般会計と仁良川地区土地区画整理事業特別会計の一部を合算したものです。

[借方] 小中学校の改修事業、道路整備に伴う有形固定資産の増や財政調整基金、減債基金の積立等により資産合計が4億6,402万円増加しました。

[貸方] 繰上償還等により純資産合計が5億288万円増加しました。